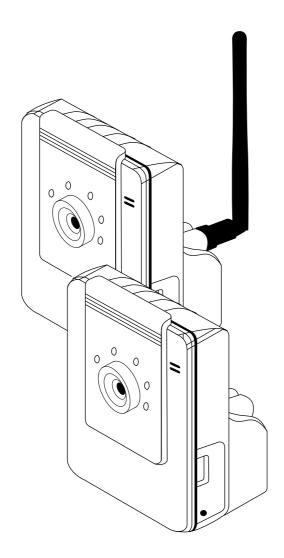
corega

ネットワークカメラ
CG-NCM4
CG-WLNCM4G
詳細設定ガイド

Contents

付属の「取扱説明書」を必ずお読みになり、正しく設置・操作を行ってください。

Y613-15271-01 Rev.A

マニュアルの種類と使い方

本商品には次のマニュアルがあります。本商品をお使いになる状況に合わせて、それぞれのマニュアルをご覧ください。

■取扱説明書

本商品を使い始めるまでのセットアップ作業について説明しています。また、「Q&A」では代表的なトラブルとその対処方法を説明しています。

■詳細設定ガイド（PDF マニュアル）

お客様の環境に合わせた本商品の設定方法や、付属のユーティリティディスク（CD-ROM）に収録している「NC Monitor」の使い方などを説明しています。

本書の構成

本書は、本商品を使いこなすための詳細な設定方法、使い方について説明しています。本書の構成は次のとおりです。

■第 1 章 本商品の詳細設定

本商品の詳細な設定方法について説明します。

■第 2 章 NC Monitor の使い方

NC Monitor のインストール、使い方について説明します。

■第 3 章 こんなときはこの設定

本商品の応用的な使い方について説明しています。

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

■記号について

	操作中に気をつけていただきたい内容です。必ずお読みください。		補足事項や参考となる情報を説明しています。

■表記について

本商品	CG-NCM4 または CG-WLNCM4G のことです。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　]	[　] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista™ Home Basic、 Microsoft® Windows Vista™ Home Premium、 Microsoft® Windows Vista™ Business および Microsoft® Windows Vista™ Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system および Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

※本書では、複数の OS を「Windows XP/2000」のように併記する場合があります。

■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

目次

第 3 章 こんなときはこの設定

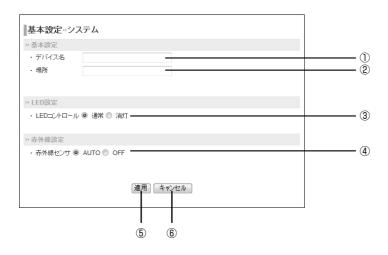
第 1 章
本商品の詳細設定

この章では、本商品の設定画面の詳しい説明をしています。本商品を使っていて「機能を使いこなしたい」、「設定画面の詳しい情報が知りたい」と思ったときは、この章で項目を探してください。

1.1　基本設定

本商品の基本的な設定をします。

1.1.1　システム

本商品のシステム設定をします。

■基本設定

①デバイス名

本商品の名前を設定します。複数台の本商品をお使いになる場合などに本商品を区別することができます（初期値：空欄）。

②場所

本商品を設置する場所の名前を設定します（初期値：空欄）。

■ LED 設定

③LED コントロール

本商品の LED の動作を設定します。

通常：本商品の動作に従って LED は点灯、点滅、消灯します（初期値）。

消灯：本商品の動作中も LED は常時消灯になります。

■赤外線設定

④赤外線センサ

赤外線センサの動作を設定します。

AUTO：カメラの周囲が暗くなると自動的に赤外線センサが動作します（初期値）。

OFF：赤外線センサは動作しません。

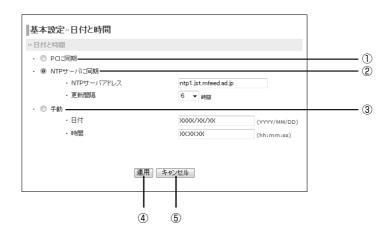
⑤[適用]

設定した内容を保存します。

⑥[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

1.1.2　日付と時間

本商品の日付と時間を設定します。

■日付と時間

本商品の日付と時間の設定方法を選択します。

①PC に同期

本商品に接続しているお使いのパソコンと時刻を同期する場合に選択します。

②NTP サーバに同期

NTP サーバと時刻を同期する場合に選択します（初期値）。

インターネットに接続してしばらくすると自動的に同期します。

・ **NTP サーバアドレス**

同期したい NTP サーバのアドレスを入力します。

プロバイダが NTP サーバを公開している場合は、プロバイダの NTP サーバアドレスを入力してください。

・ **更新間隔**

NTP サーバと同期する更新間隔を選択します。

③手動

手動で現在の時刻を設定する場合に選択します。

・**日付**

日付を手動で設定します（初期値：現在の日付）。

半角数字と半角「/」で「xxxx/xx/xx」と入力します（例：2008/01/25）。

・**時間**

時刻を手動で設定します（初期値：現在の時刻）。

半角数字と半角「:」で「xx:xx:xx」と入力します（例：15:30:00）。

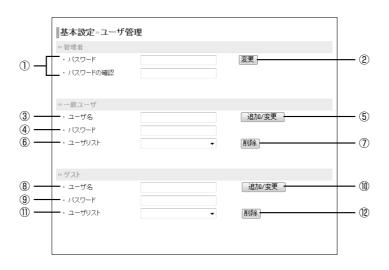
④[適用]

設定した内容を保存します。

⑤[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、現在の設定を変更する前に戻します。

1.1.3　ユーザ管理

本商品に接続するユーザ名とパスワードを設定します。

■管理者

「管理者」権限では、「Live View」での映像の閲覧、動画の録画、静止画の撮影のほか、本商品の設定ができます。

「管理者」権限のユーザ名は「admin」から変更できません。

①パスワード／パスワードの確認

新しく設定するパスワードを設定します。

②[変更]

①で入力したパスワードに変更します。

■一般ユーザ

「一般ユーザ」権限では、「Live View」での映像の閲覧、動画の録画、静止画の撮影ができます。本商品の設定は変更できません。「ゲストユーザ」権限と合わせて 11 ユーザ分まで作成できます。

③ユーザ名

「一般ユーザ」のユーザ名を入力します。

④パスワード

「一般ユーザ」のパスワードを入力します。

⑤[追加／変更]

③、④で入力した内容で「一般ユーザ」を作成します。

⑥ユーザリスト

作成した「一般ユーザ」を表示します。

⑦[削除]

⑥で表示した「一般ユーザ」を削除します。

■ゲストユーザ

「ゲストユーザ」権限では、「Live View」での映像の閲覧ができます。動画の録画、静止画の撮影、本商品の設定はできません。「一般ユーザ」権限と合わせて 11 ユーザ分まで作成できます。

⑧ユーザ名

「ゲストユーザ」のユーザ名を入力します。

⑨パスワード

「ゲストユーザ」のパスワードを入力します。

⑩[追加／変更]

⑧、⑨で入力した内容で「ゲストユーザ」を作成します。

⑪ユーザリスト

作成した「ゲストユーザ」を表示します。

⑫[削除]

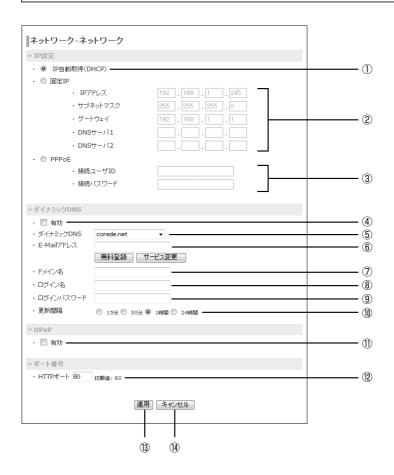
⑪で表示した「ゲストユーザ」を削除します。

1.2　ネットワーク

本商品のネットワークの設定をします。

1.2.1　ネットワーク

本商品の IP アドレスやポート番号を設定します。

「IP 設定」は「NC Finder」で設定することもできます。詳しくは、取扱説明書「付録 本商品の IP アドレスを変更したい」をご覧ください。

■ IP 設定

本商品の IP アドレスの取得方法を設定します。

ネットワークの設定を変更する場合はここで設定します。

①IP 自動取得（DHCP）

お使いのネットワーク環境が、Yahoo! BB や CATV などの DHCP でインターネットに接続している場合や、社内 LAN やルータの DHCP サーバから IP アドレスを取得している場合などに選択します。

②固定 IP

本商品の IP アドレスを固定する場合に設定します。

IP アドレスを DHCP サーバから取得している場合、本商品や DHCP サーバが再起動すると、以前と異なる IP アドレスが割り当てられる場合があります。同じ IP アドレスを設定する場合は、固定 IP で IP アドレスを指定してください。

・**IP アドレス**

IP アドレスを設定します。

・**サブネットマスク**

サブネットマスクを設定します。

・**ゲートウェイ**

デフォルトゲートウェイを設定します。

・**DNS サーバ 1 ／ DNS サーバ 2**

プロバイダが提供している DNS サーバのアドレスを設定します。ルータ経由でインターネットに接続している場合は、ゲートウェイと同じ値を設定します。

③PPPoE

お使いのネットワーク環境がフレッツ・ADSL、B フレッツなどの回線で、本商品とモデムを直接接続して、PPPoE でインターネットに接続する場合に選択します。

・**接続ユーザ ID**

プロバイダから指定されたインターネット接続用の接続ユーザ ID を設定します。

・**接続パスワード**

プロバイダから指定されたインターネット接続用の接続パスワードを設定します。

■ダイナミック DNS

ダイナミック DNS を使用する場合に設定します。

④有効

ダイナミック DNS を使用する場合にチェックを付けます。

⑤ダイナミック DNS

お使いのダイナミック DNS を選択します。

⑥E-Mail アドレス

ダイナミック DNS に登録した E メールアドレスを設定します。

・**[無料登録]**

「ダイナミック DNS」で「corede.net」を選択した場合のみ表示されます。
「corede.net」の無料サービスに登録できます。

・**[サービス変更]**

ダイナミック DNS で「corede.net」を選択した場合のみ表示されます。

有料サービスの内容および開始時期については、次の URL をご覧ください。
http://www.corede.net/member/

⑦ドメイン名

ダイナミック DNS サービスで登録したドメイン名を入力します。

⑧ログイン名

ダイナミック DNS サービスで登録したログイン名を入力します。

⑨ログインパスワード

ダイナミック DNS サービスで登録したログインパスワードを入力します。

⑩更新間隔

IP アドレスの更新を確認する時間間隔を「15 分」、「30 分」、「1 時間」、「24 時間」から設定します（初期値：1 時間）。

■ UPnP

UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）を使用する場合に設定します。

⑪有効

UPnP を使用してポートを開放する場合にチェックを付けます。開放されるポートは、P.16「■ ポート番号」で設定します。

■ポート番号

本商品に接続するポート番号を変更する場合に設定します。

⑫HTTP ポート

ポート番号を設定します（初期値：80）。

・通常は初期値から変更する必要はありません。
・ポート番号を初期値から変更した場合、本商品に接続するときのアドレスにポート番号も入力する必要があります。
例 : ポート番号を 8080 に設定した場合のアドレス
http://xxx.xxx.xxx.xxx:8080

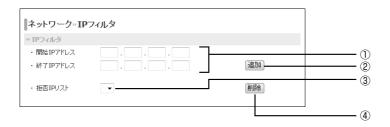
⑬[適用]

設定した内容を保存します。

⑭[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

1.2.2　IP フィルタ

本商品に接続できるパソコンの IP アドレスを制限します。入力文字は半角数字のみ有効です。

①開始 IP アドレス／終了 IP アドレス

本商品への接続を制限したい IP アドレスを範囲で入力します。

設定例：

開始 IP アドレス　192.168.0.1

終了 IP アドレス　192.168.0.10

この場合、192.168.0.1 から 192.168.0.10 までの IP アドレスに設定されたパソコンからは、本商品に接続できません。

②[追加]

①で入力した IP アドレスの範囲を③拒否 IP リストに追加します。

③拒否 IP リスト

本商品への接続を制限する IP アドレスの範囲が表示されます。

拒否 IP リストの IP アドレスのパソコンからは、本商品に接続できません。

例：192.168.0.1~192.168.0.10

この場合、192.168.0.1 から 192.168.0.10 までの IP アドレスに設定されたパソコンからは、本商品に接続できません。

④[削除]

表示されている拒否 IP リストを削除します。

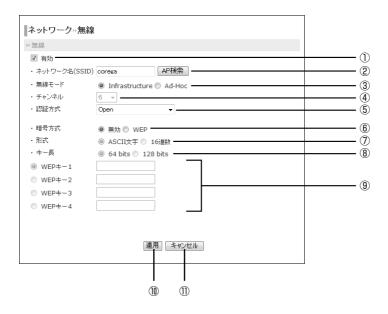
1.2.3　無線（CG-WLNCM4G のみ）

本商品を無線 LAN で接続するために、お使いの環境に合わせて設定項目を入力します。お使いの無線セキュリティの暗号方式によって、次の設定方法に分かれます。

P.18「■ WEP をお使いの場合」

P.20「■ WPA-PSK/WPA2-PSK をお使いの場合」

■ WEP をお使いの場合

無線セキュリティで WEP をお使いの場合は、次のように設定します。

①有効

無線 LAN 機能の有効・無効を設定します（初期値：有効）。

無線 LAN 機能を使う場合はチェックを付けます。使わない場合はチェックを外します。

②ネットワーク名（SSID）

接続先の無線 LAN 機器（アクセスポイントや無線ルータ、または無線 LAN アダプタなど）と同じ文字列を設定します（初期値：corega）。

SSID には、32 文字以内の半角英数文字および半角記号を使用できます。

・［AP 検索］

ネットワーク名（SSID）を入力する代わりに、近くにある無線 LAN 機器を検索できます。接続先の無線 LAN 機器を選択すると、ネットワーク名（SSID）が自動で入力されます。

③無線モード

接続先の無線　LAN　機器がアクセスポイントまたは無線ルータの場合はInfrastructure（インフラストラクチャ）を、パソコンと直接通信する場合はAd-Hoc（アドホック）を選択します（初期値：Infrastructure）。

④チャンネル

使用する電波の周波数（無線チャンネル）を 1 ～ 13 の間で設定します（初期値：6）。

無線モードが Ad-Hoc（アドホック）の場合のみ接続したい無線 LAN アダプタと同じチャンネルに設定します。Infrastructure（インフラストラクチャ）では、接続するアクセスポイントに合わせて自動的に選択されます。

⑤認証方式

暗号化で使用する認証方式を選択します（初期値：Open）。

WEP をお使いの場合は、接続先の無線 LAN 機器に合わせて「Open」（Open System）または「Shared Key」のどちらかを選択します。

⑥暗号方式

無線セキュリティの暗号方法を設定します（初期値：無効）。

WEP をお使いの場合は「WEP」を選択します。暗号化しない場合は「無効」を選択します。「無効」を選択した場合、無線の通信内容は暗号化されません。

⑦形式

WEP の暗号化キーの入力形式を、接続先の無線 LAN 機器に合わせて選択します（初期値：ASCII 文字）。

⑧キー長

WEP の暗号化キーのキー長を、接続先の無線 LAN 機器に合わせて選択します（初期値：64bits）。

⑨WEP キー

WEP の暗号化キーを接続先の無線 LAN 機器に合わせて入力します（初期値：空欄）。

複数設定して、使用する WEP キーを選択することもできます。

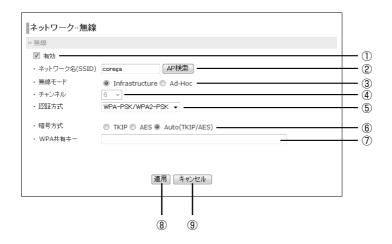
⑩[適用]

設定した内容を保存します。

⑪[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

■ WPA-PSK/WPA2-PSK をお使いの場合

無線セキュリティで WPA-PSK や WPA2-PSK をお使いの場合は、次のように設定します。

①有効

無線 LAN 機能の有効・無効を設定します（初期値：有効）。

無線 LAN 機能を使う場合はチェックを付けます。使わない場合はチェックを外します。

②ネットワーク名（SSID）

接続先のアクセスポイントや無線ルータと同じ文字列を設定します（初期値：corega）。

SSID には、32 文字以内の半角英数文字および半角記号を使用できます。

- ［AP 検索］

  ネットワーク名（SSID）を入力する代わりに、近くのアクセスポイントや無線ルータなどを検索できます。接続先の無線 LAN 機器を選択すると、ネットワーク名（SSID）が自動で入力されます。

③無線モード

接続先の無線　LAN　機器がアクセスポイントまたは無線ルータの場合は Infrastructure（インフラストラクチャ）を選択します。

④チャンネル

使用する電波の周波数（無線チャンネル）を 1 ～ 13 の間で設定します（初期値：6）。

無線モードが Ad-Hoc（アドホック）の場合のみ接続したい無線 LAN アダプタと同じチャンネルに設定します。Infrastructure（インフラストラクチャ）では、接続するアクセスポイントに合わせて自動的に選択されます。

⑤認証方式

暗号化で使用する認証方式を選択します（初期値：Open）。

WPA-PSK をお使いの場合はお使いのアクセスポイントや無線ルータの設定に合わせて、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPA-PSK/WPA2-PSK」から選択します。WPA-PSK は Infrastructure（インフラストラクチャ）の場合のみ選択できます。

⑥暗号方式

無線セキュリティの暗号方式を選択します（初期値：無効）。

お使いのアクセスポイントや無線ルータの設定に合わせて「TKIP」、「AES」、「Auto（TKIP/AES）」から選択します。

⑦WPA 共有キー

お使いのアクセスポイントや無線ルータの設定に合わせて WPA-PSK の共有キーを設定します（初期値：空欄）。

⑧[適用]

設定した内容を保存します。

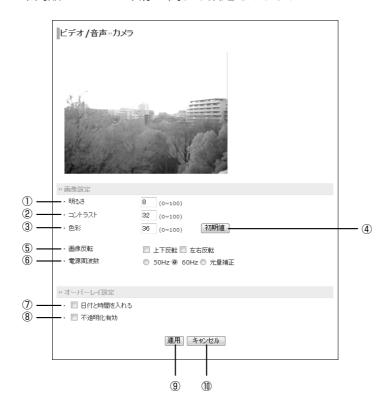
⑨[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

1.3　ビデオ / 音声

本商品のカメラの映像や音声に関する設定をします。

1.3.1　カメラ

本商品のカメラの映像に関する設定をします。

■画像設定

①明るさ

映像の明るさを設定します。明るさの数値は「0（暗い）～ 100（明るい)」で設定できます（初期値：8)。

②コントラスト

映像のコントラストを設定します。コントラストの数値は「0（弱い）～ 100（強い)」で設定できます（初期値：32)。

③色彩

映像の色彩を設定します。色彩の数値は「0（淡い）～ 100（濃い)」で設定できます（初期値：36)。

④[初期値]

明るさ、コントラスト、色彩の数値を初期値に戻します。

⑤画像反転

映像を反転します。本商品を天井などに設置する場合などにお使いください。

・ **上下反転**

映像の上下を反転します（初期値：無効）。

・ **左右反転**

映像の左右を反転します（初期値：無効）。

⑥電波周波数

電波周波数を設定します（初期値：60Hz）。

東日本地域でお使いの場合は「50Hz」、西日本地域でお使いの場合は「60Hz」を選択します。正しく設定することで、蛍光灯などの照明下の映像でちらつきを抑えることができます。

また、窓際や屋外で本商品を使用する場合で、太陽光の影響でカメラの画像が白飛びするようなときは「光量補正」を選択します。

■オーバーレイ設定

⑦日付と時間を入れる

映像に日付と時間を表示する場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

⑧不透明化有効

日付と時間の背景を黒で表示する場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

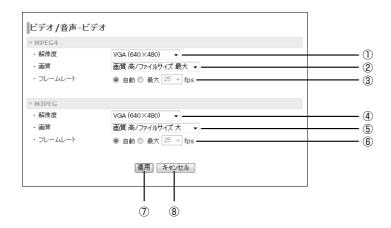
⑨[適用]

設定した内容を適用します。

⑩[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

1.3.2　ビデオ

MPEG4 と MJPEG（モーション JPEG）の映像の設定をします。

■ MPEG4

MPEG4 で録画する場合の設定をします。

①解像度

録画時の解像度を「VGA（640 × 480）、QVGA（320 × 240）、QQVGA（160 × 120）」から選択します（初期値：VGA（640 × 480））。

②画質

録画時の画質を選択します（初期値：画質 高 / ファイルサイズ 最大）。

③フレームレート

録画時のフレームレートを設定します（初期値：自動）。

■ MJPEG

MJPEG で録画する場合の設定をします。

④解像度

録画時の解像度を「VGA（640 × 480）、QVGA（320 × 240）、QQVGA（160 × 120）」から選択します（初期値：VGA（640 × 480））。

⑤画質

録画時の画質を選択します（初期値：画質 高 / ファイルサイズ 大）。

⑥フレームレート

録画時のフレームレートを設定します（初期値：自動）。

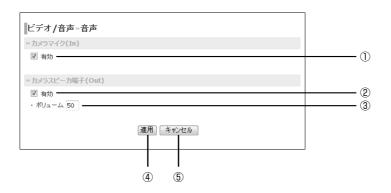
⑦[適用]

設定した内容を保存します。

⑧[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

1.3.3　音声

本商品の内蔵マイク、音声出力端子に関する設定をします。

■カメラマイク（In）

①有効

カメラの内蔵マイクを使用する場合は、チェックを付けます（初期値：有効）。

■カメラスピーカ端子（Out）

②有効

カメラのスピーカ端子を使用する場合は、チェックを付けます（初期値：有効）。

③ボリューム

音量を「0（小さい）～ 99（大きい)」で設定します（初期値：50)。

④[適用]

設定した内容を保存します。

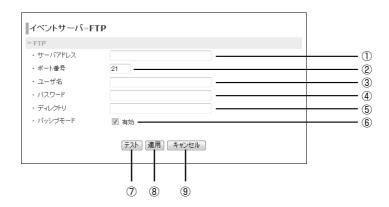
⑤[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

1.4　イベントサーバ

本商品で撮影、録画した静止画や動画の保存先を設定します。
詳しい設定方法は、P.81「 **第 3 章** こんなときはこの設定」をご覧ください。

1.4.1　FTP サーバ

静止画を FTP サーバに保存する場合に設定します。

①サーバアドレス

静止画を保存したい FTP サーバのアドレスを入力します（初期値：空欄）。

FTP サーバがダイナミック DNS などのドメイン名を取得している場合は、ドメイン名で入力できます。

②ポート番号

FTP サーバが使うポート番号を入力します（初期値：21）。

③ユーザ名

FTP サーバに接続するためのユーザ名を入力します (初期値：空欄)。

④パスワード

FTP サーバに接続するためのパスワードを入力します（初期値：空欄)。

⑤ディレクトリ

FTP サーバの接続先のディレクトリを設定します（初期値：空欄)。

⑥パッシブモード

FTP サーバとの接続方法を選択します（初期値：有効)。

パッシブモードを使う場合はチェックを付けます。パッシブモードを使わない場合はチェックを外します。

⑦[テスト]

FTP サーバとの接続をテストします。

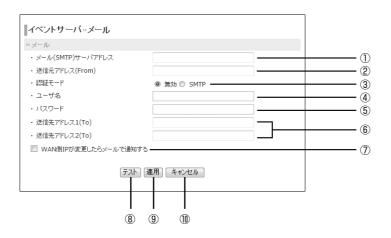
⑧[適用]

設定した内容を保存します。

⑨[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

1.4.2　メール

静止画をメールで送信する場合に設定します。

①メール（SMTP）サーバアドレス

送信元のメールサーバのアドレスを入力します（初期値：空欄）。

メールサーバがダイナミック DNS などのドメイン名を取得している場合は、ドメイン名で入力できます。

②送信元アドレス（From）

送信元のメールアドレスを入力します（初期値：空欄）。

③認証モード

メールサーバの認証方式を選択します（初期値：無効）。

お使いのメールサーバの設定に従って、「無効」か「SMTP」のどちらかを選択します。

④ユーザ名

メールサーバに接続するためのユーザ名を入力します（初期値：空欄）。

⑤パスワード

メールサーバに接続するためのパスワードを入力します（初期値：空欄）。

⑥送信先アドレス 1/2（To）

送信先のメールアドレスを入力します（初期値：空欄）。

送信先のメールアドレスは 2 つ設定できます。

⑦WAN 側 IP が変更したらメールで通知する

本商品の WAN 側 IP アドレスが変更された場合にメールで通知します（初期値：無効）。

本商品の映像をインターネット経由で閲覧する場合、本商品の WAN 側 IP アドレスで接続する必要があります。IP アドレスが頻繁に変更される環境でお使いの場合に、チェックを付けます。

⑧[テスト]

メールサーバとの接続をテストします。

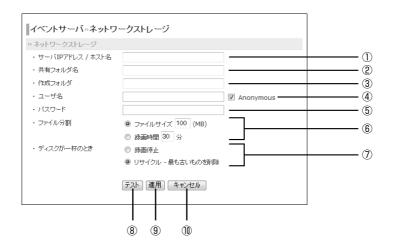
⑨[適用]

設定した内容を保存します。

⑩[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

1.4.3　ネットワークストレージ

動画をネットワークストレージに保存する場合に設定します。

①サーバ IP アドレス / ホスト名

動画を保存するネットワークストレージのアドレスを入力します（初期値：空欄）。

IP アドレスまたはホスト名で入力できます。

②共有フォルダ名

ネットワークストレージの共有フォルダを入力します（初期値：空欄）。

③作成フォルダ

共有フォルダ内に作成するフォルダを入力します (初期値：空欄)。

複数台の本商品の動画を保存する場合は、作成フォルダで保存先を振り分けます。

④ユーザ名

ネットワークストレージに接続するためのユーザ名を入力します（初期値：空欄）。

ユーザ名･パスワードが必要ない場合は､「Anonymous」にチェックを付けます。

⑤パスワード

ネットワークストレージに接続するためのパスワードを入力します（初期値：空欄）。

ユーザ名･パスワードが必要ない場合は､「Anonymous」にチェックを付けます。

⑥ファイル分割

動画のファイルサイズが大きくなる場合のファイル分割方法を選択します（初期値：ファイルサイズ 100MB）。

- **ファイルサイズ**

  動画の分割方法をファイルサイズで指定します（初期値：100MB）。

- **録画時間**

  動画の分割方法を録画時間で指定します（初期値：30 分）。

⑦ディスクが一杯のとき

保存先のネットワークストレージの容量が一杯になった場合の動作を設定します（初期値：リサイクル）。

- **録画停止**

  ネットワークストレージの空き容量がなくなった場合に録画を停止します。

- **リサイクル**

  ネットワークストレージの空き容量がなくなった場合に古い録画ファイルを削除して録画を続けます（初期値）。

⑧[テスト]

ネットワークストレージとの接続をテストします。

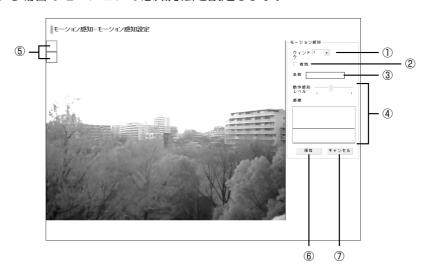
⑨[適用]

設定した内容を保存します。

⑩[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

1.5　モーション感知

モーション録画する場合のモーションの感知方法を設定します。

①ウィンドウ

モーション感知するウィンドウ（領域）を選択します。

②有効

選択したウィンドウでモーション感知する場合は「有効」にチェックを付けます（初期値：無効）。

③名前

選択したウィンドウに名前を付けます (初期値：空欄)。

④動作感知レベル / 感度

モーション感知する感度を設定します。

「動作感知レベル」と「感度」は連動しています。

⑤ウィンドウ 1/ ウィンドウ 2

モーション感知するウィンドウの大きさや位置を設定します。

選択されているウィンドウは赤い枠で表示されます。ウィンドウは最大 2 つまで設定できます。

⑥[保存]

設定した内容を保存します。

⑦[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

■モーション感知を設定する

モーション感知は次の手順で設定します。

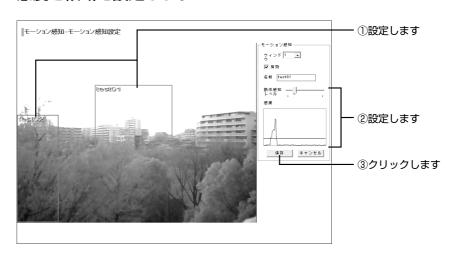
1　モーション感知を有効にします

①「ウィンドウ」のプルダウンメニューで、ウィンドウを選択します。選択したウィンドウは画面上で赤枠で表示されます。

②「有効」にチェックを付けます。

③ウィンドウに名前を付けると画面上で名前が表示されます。ここでは例として「ウィンドウ 1」に「test01」、「ウィンドウ 2」に「test02」と名前を付けます。

④［保存］をクリックします。

2　感度と領域を設定します

①モーション感知する領域を設定します。マウスを操作して、画面上で選択したウィンドウの大きさを変更したり、位置を移動することができます。

②感度を設定します。「動作感知レベル」のスライドを左に移動すると、「感度」のしきい値が下がり、変化の小さい映像でも感知します。「動作感知レベル」のスライドを右に移動すると、「感度」のしきい値が上がり、変化の小さい映像は感知しません。

③［保存］をクリックします。

以上で本商品のモーション感知の設定は完了です。

■モーション感知を変更する

設定したモーション感知は設定と同じ手順で変更できます。

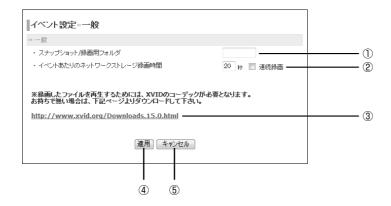
モーション感知の設定を初期設定に戻すには、本商品を工場出荷時の状態に戻す（初期化する）必要があります。

1.6　イベント設定

イベントに関する設定をします。
詳しい設定方法は、P.81「 **第３章** こんなときはこの設定」ご覧ください。

1.6.1　一般

録画に関する一般的な設定をします。

動画の録画は、お使いのパソコンとネットワークストレージに対応します。静止画の撮影は、お使いのパソコン、FTP、E メール、本商品に接続した USB ストレージに対応します。

①スナップショット / 録画用フォルダ

FTP、ネットワークストレージ、本商品に接続した USB ストレージに、動画または静止画を保存するときのフォルダを指定します。ここで指定したフォルダに自動的に撮影時刻のフォルダを作成して、動画または静止画を保存します。

本商品を複数台お使いの場合は、カメラごとにフォルダを作成することをお勧めします。

②イベントあたりのネットワークストレージ録画時間

録画する動画の 1 ファイルあたりの録画時間を「5 〜 60」秒の範囲で設定します（初期値：20 秒）。

連続して録画する場合は、「連続録画」にチェックを付けます。

③コーデックの URL

MPEG4 を再生するには、お使いのパソコンに MPEG4 のコーデックがインストールされている必要があります。パソコンにコーデックがインストールされていない場合は、コーデックをダウンロードして、インストールしてください。

☞ 取扱説明書「MPEG4 の動画を再生するには」

④[適用]

設定した内容を保存します。

⑤[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

1.6.2　スケジュール

本商品でスケジュールに従って録画する場合に設定します。

■スケジュールを設定する

本商品でスケジュール録画をする際に使うスケジュールを設定します。

本商品のスケジュールを設定する前に、本商品の「日付と時間」を設定してください。

☞ P.9 「1.1.2 日付と時間」

1　［追加］をクリックします

Windows Vista をお使いの場合は、［追加］をクリックすると、次の画面が表示されます。表示された文章をクリックして、「スクリプト化されたウィンドウの実行を一時的に許可」をクリックし、再度［追加］をクリックします。

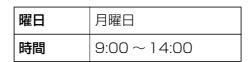
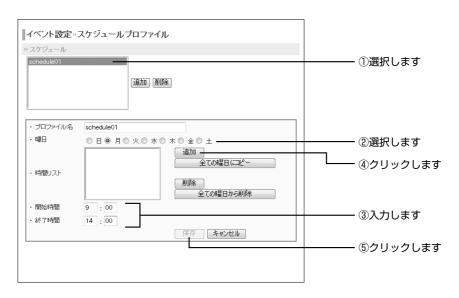
2　スケジュール名を設定します

スケジュール名を入力して［OK］をクリックします。

ここでは、例として「Schedule01」とします。

3　スケジュールを設定します

ここでは例として次の内容で設定します。

曜日	月曜日
時間	9:00 ～ 14:00

①「Schedule01」を選択します。

②月曜日を選択します。

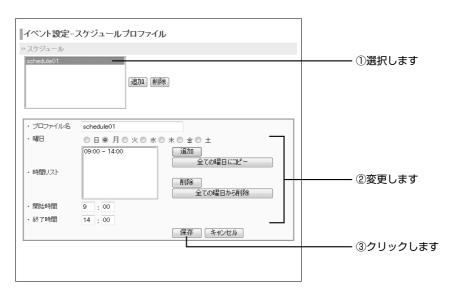
③「開始時間」に「9：00」、「終了時間」に「14：00」を入力します。

④［追加］をクリックします。

⑤［保存］をクリックします。

以上でスケジュールの追加は完了です。

■スケジュールを変更する

設定したスケジュールは P.35 「■ スケジュールを設定する」と同様の手順で変更できます。

①変更したいスケジュールを選択します。

②設定を変更します。

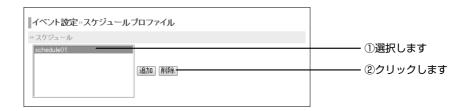
③［保存］をクリックします。

以上でスケジュールの変更は完了です。

■スケジュールを削除する

設定したスケジュールは次の手順で削除できます。

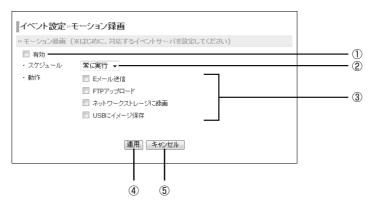
1　スケジュールを削除します

削除するスケジュールを選択して［削除］をクリックします。

2　［OK］をクリックします

削除の確認の画面が表示されます。［OK］をクリックします。

以上でスケジュールの削除は完了です。

1.6.3　モーション録画

モーション感知に従って録画をする場合に設定します。

①有効

モーション録画を使う場合は、「有効」にチェックを付けます（初期値：無効）。

②スケジュール

モーション録画するスケジュールを選択します（初期値：常に実行）。

スケジュールの設定方法は、P.35「1.6.2 スケジュール」をご覧ください。

③動作

モーション録画の動作を設定します。

- **E メール送信**

  モーション録画で撮影した静止画をEメールで送信する場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

- **FTP アップロード**

  モーション録画で撮影した静止画を FTP サーバに保存する場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

- **ネットワークストレージに録画**

  モーション録画で録画した動画をネットワークストレージに保存する場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

- **USB にイメージ保存**

  モーション録画で撮影した静止画を本商品に接続した USB ストレージに保存する場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

④[適用]

設定した内容を保存します。

⑤[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

1.6.4　スケジュール録画

スケジュール録画の設定をします。

■ E メールスケジュール

①有効

E メールでのスケジュール録画をする場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

②スケジュール

撮影のスケジュールを選択します（初期値：常に実行）。

スケジュールの設定方法は、**P.35**「1.6.2 スケジュール」をご覧ください。

③イベント間隔

撮影の時間間隔を設定します（初期値：20 秒）。

静止画を撮影してから、次に静止画を撮影するまでの時間間隔になります。

■ FTP スケジュール

①有効

FTP サーバへスケジュール録画をする場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

②スケジュール

撮影のスケジュールを選択します（初期値：常に実行）。

スケジュールの設定方法は、**P.35**「1.6.2 スケジュール」をご覧ください。

③イベント間隔

撮影の時間間隔を設定します（初期値：30 秒）。

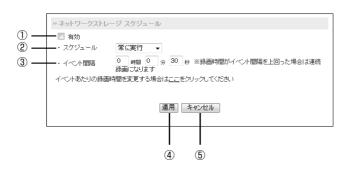
静止画を撮影してから、次に静止画を撮影するまでの時間間隔になります。

④[適用]

設定した内容を保存します。

⑤[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

■ネットワークストレージスケジュール

①有効

ネットワークストレージへスケジュール録画をする場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

②スケジュール

録画のスケジュールを選択します（初期値：常に実行）。

スケジュールの設定方法は、P.35「1.6.2 スケジュール」をご覧ください。

③イベント間隔

録画の時間間隔を設定します（初期値：30 秒）。

録画が終了してから、次に録画を開始できるまでの時間間隔になります。

1 回の録画時間は、「イベントあたりのネットワークストレージ録画時間」で設定します。

☞ P.34「1.6.1 一般」

④[適用]

設定した内容を保存します。

⑤[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

1.7　ツール

本商品を工場出荷状態に戻したり、設定のバックアップ、ファームウェアの更新などができます。

①工場出荷時の状態へ戻す

本商品の設定を初期化して工場出荷時の状態へ戻します。

☞ P.110 「3.4 本商品を工場出荷時に戻す」

②システムを再起動する

本商品を再起動します。

☞ P.112 「3.5 本商品を再起動する」

③設定保存

本商品の設定をファイルに保存します。

☞ P.114 「3.6 本商品の設定のバックアップを取る / 元に戻す」

④設定読込

保存してある本商品の設定ファイルを読み込み、反映します。

☞ P.114 「3.6 本商品の設定のバックアップを取る / 元に戻す」

⑤ファームウェア・バージョン

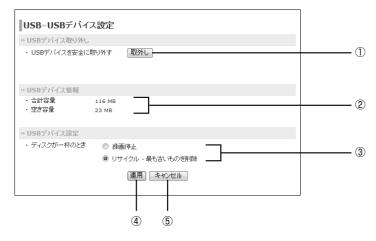
本商品のファームウェアのバージョンを表示します。

⑥ファームウェア更新

本商品のファームウェアを更新します。

☞ P.117「3.7 ファームウェアをアップデートする」

1.8　USB

本商品に USB ストレージを接続して使う場合の設定をします。
詳しい設定方法は、P.81「 **第 3 章** こんなときはこの設定」をご覧ください。

①USB デバイスを安全に取り外す

本商品に接続した USB ストレージを取り外す場合は、［取外し］をクリックします。Power LED が点滅して、点灯に戻ったあと、安全に取り外せます。

②合計容量 / 空き容量

本商品に接続した USB ストレージの合計容量と空き容量を表示します。

③ディスクが一杯のとき

本商品に接続した USB ストレージの空き容量がなくなった場合の動作を設定します（初期値：リサイクル）。

- **録画停止**

  USB ストレージの空き容量がなくなった場合に静止画の撮影を停止します。

- **リサイクルー最も古いものを削除**

  USB ストレージの空き容量がなくなった場合に日付の古いフォルダを削除して撮影を続けます。

④[適用]

設定した内容を保存します。

⑤[キャンセル]

［適用］をクリックする前に限り、設定を変更する前に戻します。

1

1.9　情報

本商品の状態の情報を表示します。

1.9.1　デバイス情報

本商品に設定した情報の一覧が表示されます。

1.9.2　システムログ

本商品のログ情報が表示されます。

①［更新］

ログを更新します。

第 2 章
NC Monitor の使い方

この章では、パソコンから本商品の映像を閲覧、録画、撮影できる「NC Monitor」のインストールから使い方までを説明します。

2.1　NC Monitor をインストールする

この章では、パソコンから本商品の映像を閲覧、録画、撮影できる「NC Monitor」のインストールから使い方までを説明します。

2.1.1　NC Monitor をインストールする

本商品の映像を閲覧、録画、撮影する「NC Monitor」のインストール手順を説明します。

お使いの OS によってインストール手順が異なります。

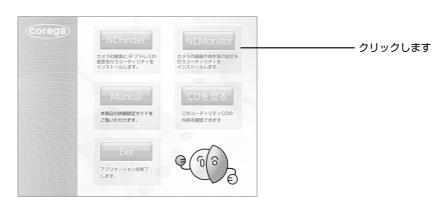
☞ **P.48**「2.1.2　Windows Vista の場合」

☞ **P.51**「2.1.3　WindowsXP/2000 の場合」

・「NC Monitor」は Windows 専用のソフトウェアです。他の OS には対応していません。
・「コンピュータの管理者」権限があるユーザでお使いください。

2.1.2　Windows Vista の場合

次の手順で「NC Monitor」をインストールします。

1　**パソコンの　CD-ROM　ドライブにユーティリティディスクをセットし、次の画面が表示されたら［NC Monitor］をクリックします。**

2　**「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合は［許可］をクリックします。**

3　［次へ］をクリックします。

4　ソフトウェアをインストールする場所を指定して［次へ］をクリックします。

インストール場所を変更したい場合は［参照］をクリックして、任意に指定してください。通常は変更する必要はありません。

5 ［次へ］をクリックしてインストールを開始します。

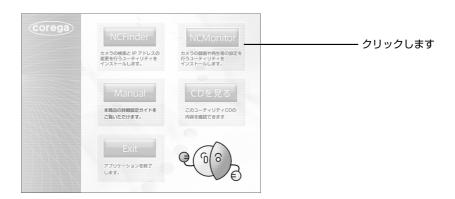
6 「ユーザーアカウント制御画面」が表示される場合は［許可］をクリックします。

7 ［閉じる］をクリックします。

以上で「NC Monitor」のインストールは完了です。

引き続き、P.54「2.2　NC Monitor を起動する」に進みます。

2.1.3　WindowsXP/2000 の場合

1　パソコンの CD-ROM ドライブにユーティリティディスク（CD-ROM）をセットして次の画面が表示されたら［NC Monitor］をクリックします。

お使いの環境に「.NET Framework」がインストールされていない場合、次の画面が表示されます。［同意する］をクリックして、表示される画面に従ってインストールします（弊社で動作を確認しています）。

2 ［次へ］をクリックします。

3 「NC　Monitor」をインストールする場所を指定し、［次へ］をクリックします。

インストール場所を変更したい場合は［参照］をクリックして、任意に指定してください。通常は変更する必要はありません。

クリックします

4　［次へ］をクリックしてインストールを開始します。

5　［閉じる］をクリックします。

以上で「NC Monitor」のインストールは完了です。

引き続き、P.54「2.2　NC Monitor を起動する」に進みます。

2.2　NC Monitor を起動する

「NC Monitor」を次の手順で起動します。

1　スタートメニューを開きます

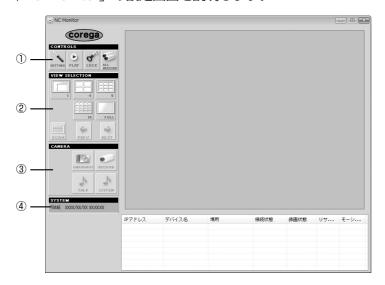
［スタート］－「すべてのプログラム（Windows 2000 の場合は「プログラム」）」－「corega」－「NC Monitor」－「NC Monitor」の順にクリックします。

2　「NC Monitor」を起動します

以上で「NC Monitor」が起動します。

引き続き、P.55「2.3　NC Monitor の設定画面」進みます。

2.3　NC Monitor の設定画面

「NC Monitor」の設定画面を説明します。

① CONTROLS

「NC Monitor」の設定、動画の再生、画面のロック、一斉録画ができます。

☞ P.56「2.3.1　CONTROLS」

② VIEW SELECTION

「NC Monitor」に登録した映像の表示方法の設定と切り替えができます。

☞ P.57「2.3.2　VIEW SELECTION」

③ CAMERA

本商品の映像を手動で撮影、録画できます。

☞ P.58「2.3.3　CAMERA」

④ SYSTEM

現在の時刻を表示します。

☞ P.59「2.3.4　SYSTEM」

「NC Monitor」で本商品の映像を閲覧、撮影、録画するには、本商品を「NC Monitor」に登録する必要があります。

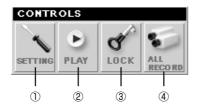
詳しい設定方法は、次をご覧ください。

☞ P.69「2.4.1　NC Monitor に本商品を登録する」

☞ P.72「2.4.2　NC Monitor の状態を更新する」

☞ P.74「2.4.3　NC Monitor から本商品を削除する」

2.3.1　CONTROLS

「CONTROLS」では、「NC Monitor」の設定、動画の再生、ロック、一斉録画ができます。

①[SETTING]

「NC Monitor」の各設定画面を開きます。

☞ **P.60**「2.3.5　カメラリスト」

☞ **P.62**「2.3.6　録画設定」

☞ **P.64**「2.3.7　モーション動作設定」

☞ **P.66**「2.3.8　LOCK 機能設定」

☞ **P.67**「2.3.9　その他設定」

☞ **P.68**「2.3.10　バージョン情報」

②[PLAY]

録画した動画を再生します。[PLAY］をクリックするとファイル選択画面が表示され、ファイルを選択するとパソコンで標準に設定された動画再生ソフトウェアで再生します。

③[LOCK]

「NC Monitor」の各機能ボタンを、操作できないようにロックします。ロック機能用のユーザ名とパスワードは **P.66**「2.3.8　LOCK 機能設定」で設定します。

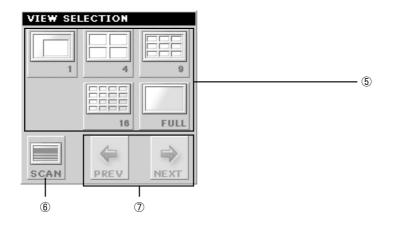
④[ALL RECORD]

登録しているすべてのカメラで一斉に録画を開始できます。

一斉に録画を停止することはできません。

2

2.3.2　VIEW SELECTION

「VIEW SELECTION」では、「NC Monitor」に登録した映像の表示方法の設定と切り替えができます。

⑤[VIEW SELECTION]

表示される映像の分割表示と全画面表示と切り替えます。

分割表示は 1、4、9、16 分割に対応します。

［FULL］をクリックすると、全画面で表示できます。全画面表示から戻るには、マウスを右クリックして「戻る」をクリックします。

⑥[SCAN]

複数台のカメラをお使いの場合に、画面を一定間隔で自動的に切り替えます。

画面の切り替え時間は、P.67「2.3.9　その他設定」で設定します。

⑦[PREV/NEXT]

複数台のカメラをお使いの場合に、画面に表示する映像を順番に切り替えます。

2.3.3　CAMERA

本商品の映像を手動で撮影、録画できます。

⑧[SNAPSHOT]

選択した映像を静止画で撮影します。選択した映像は外枠が赤く表示されます。

静止画の保存先は、P.62「2.3.6　録画設定」で設定します。

⑨[RECORD]

選択した映像を動画で録画します。選択した映像は外枠が赤く表示されます。

録画を停止する場合は、録画しているカメラを選択して、再度「RECORD」をクリックします。本商品の状態は映像の下のリストで確認します。

動画の保存先は、P.62「2.3.6　録画設定」で設定します。

⑩[TALK]

お使いのパソコンにマイク（別売り）を接続し、本商品の音声出力端子に外部スピーカ（別売り）を接続することで、お使いのパソコンのマイクから入力した音声を、本商品に接続したスピーカから出力できます。

[TALK] をクリックして（ボタンが押された状態で）動作します。再度 [TALK] をクリックすると停止します。

⑪[LISTEN]

本商品に内蔵するマイクで本商品のまわりの音を聞くことができます。

[LISTEN] をクリックして（ボタンが押された状態で）動作します。再度 [LISTEN] をクリックすると停止します。

2.3.4 SYSTEM

「NC Monitor」の現在の時刻を表示します。

⑫TIME

「NC Monitor」の現在の時刻を表示します。

お使いのパソコンの時刻に自動的に同期します。「NC Monitor」で設定するスケジュールはこの時刻が元になります。

2.3.5　カメラリスト

「NC Monitor」で複数台の本商品を登録、管理、削除します。

［SETTING］－「カメラリスト」をクリックして表示します。

■カメラリスト

「NC Monitor」に登録した本商品のリストを表示します。

①リスト

「NC Monitor」に登録した本商品を表示します。

②[更新]

クリックすると、リストで表示されるデバイス名を更新します。

③[カメラの削除]

リストから本商品を削除します。

④[カメラの追加]

リストに本商品を追加します。

⑤設定保存

本商品のリストや「NC Monitor」に登録したスケジュールを保存します。

■カメラ設定

「NC Monitor」から本商品の Web 設定画面を表示できます。

①リスト

「NC Monitor」に登録した本商品を表示します。

②[詳細設定]

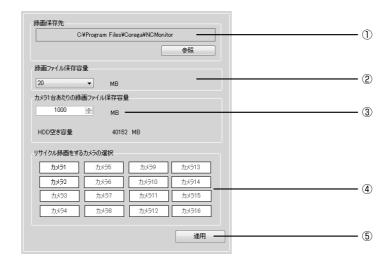
クリックすると、リストで選択した本商品の Web 設定画面を表示します。

2.3.6　録画設定

「NC Monitor」での録画方法を設定します。

［SETTING］ － 「録画設定」をクリックして表示します。

■録画設定

「NC Monitor」での録画保存先などを設定します。

①録画保存先

「NC Monitor」で録画、撮影するときの動画と静止画の保存先を設定します。

②録画ファイル保存容量

録画する動画の容量を設定します（初期値：20MB）。

③カメラ 1 台あたりの録画ファイル保存容量

本商品 1 台あたりに保存できる動画の容量を設定します（初期値：1000MB）。

④リサイクル録画をするカメラの選択

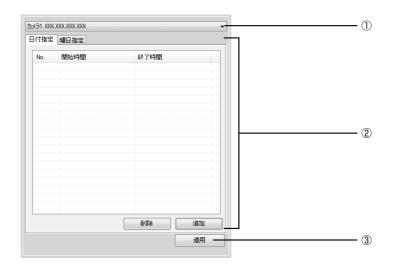
本商品 1 台ごとにリサイクル録画を設定します。

録画した動画ファイルの合計容量が、「カメラ 1 台あたりの録画ファイル保存容量」を超える場合に、古い動画を削除して録画を続けるか停止するかを選択します。

⑤［適用］

設定を保存します。

■スケジュール録画設定

「NC Monitor」でのスケジュール録画を設定します。

①カメラ選択

スケジュールを設定する本商品を選択します。

②スケジュール

日付指定と曜日指定でスケジュールを設定します。

③[適用]

設定を保存します。

詳しい設定方法は、次をご覧ください。

☞ P.75「2.4.4 NC Monitor のスケジュールを設定する」

2.3.7　モーション動作設定

「NC Monitor」でのモーション録画方法を設定します。

［SETTING］ー「モーション動作設定」をクリックして表示します。

■モーション動作設定

本商品が動作感知したときの「NC Monitor」の動作を設定します。

①カメラ選択

動作感知する本商品を選択します。

②動作感知オプション

動作感知したときの動作を設定します。

・アラーム

動作感知したときに音声を鳴らす場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

［参照］から任意の音声ファイル（wav、mp3）を選択できます。

・録画

動作感知したときに録画を開始する場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

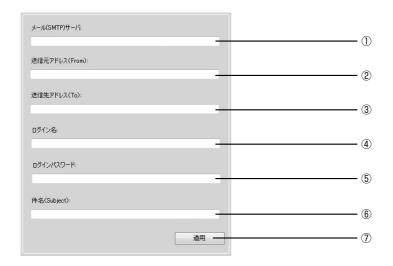
・E メール送信

動作感知したときに E メールを送信する場合にチェックを付けます（初期値：無効）。

③［適用］

設定を保存します。

■ E メール設定

「NC Monitor」から静止画を送信する場合の E メールサーバを設定します。

①メール（SMTP）サーバ

送信元に設定するメールサーバを入力します（初期値：空欄）。

②送信元アドレス（From）

送信元に設定するメールアドレスを入力します（初期値：空欄）。

③送信先アドレス（To）

送信先のメールアドレスを入力します（初期値：空欄）。

④ログイン名

送信元に設定するメールアドレスのログイン名を入力します（初期値：空欄）。

⑤ログインパスワード

送信元に設定するメールアドレスのログインパスワードを入力します（初期値：空欄）。

⑥件名 (Subject)

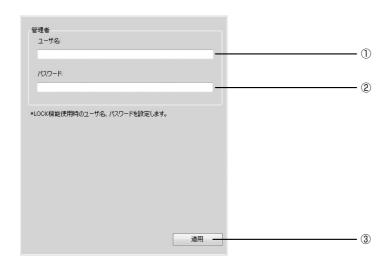
送信するメールの件名を入力します（初期値：空欄）。

⑦[適用]

設定を保存します。

2.3.8　LOCK 機能設定

LOCK 機能を設定すると、「NC Monitor」画面を操作できないようにロックできます。

［SETTING］ －「LOCK 機能設定」をクリックして表示します。

①ユーザ名

ロック機能を解除するためのユーザ名を設定します（初期値：空欄）。

②パスワード

ロック機能を解除するためのパスワードを設定します（初期値：空欄）。

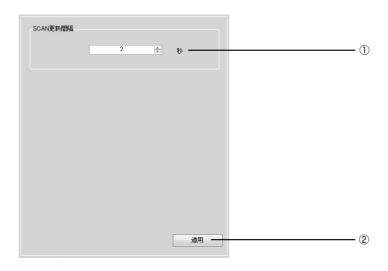
③［適用］

設定を保存します。

2

2.3.9　その他設定

「NC Monitor」画面のスキャン時間を設定します。

［SETTING］－「その他設定」をクリックして表示します。

① SCAN 更新間隔

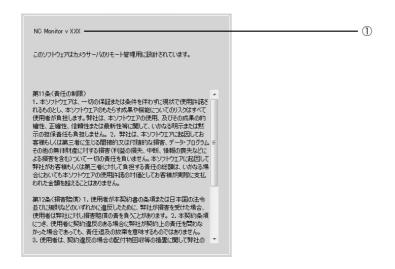
「VIEW SELECTION」で［SCAN］をする場合の映像の切り替え時間を設定します（初期値：2 秒）。

②［適用］

設定を保存します。

2.3.10 バージョン情報

「NC Monitor」のバージョンを表示します。

［SETTING］－「バージョン情報」をクリックして表示します。

①バージョン

「NC Monitor」のバージョンを表示します。

2.4　NC Monitor を設定する

2.4.1　NC Monitor に本商品を登録する

「NC Monitor」で本商品の映像を閲覧・録画するには、「NC Monitor」に本商品を登録します。

2

1　「NC Monitor」を起動します

☞ P.54「2.2　NC Monitor を起動する」

2　本商品を追加します

［SETTING］をクリック（［SETTING］が押されている状態に）して、「カメラリスト」の「カメラの追加」をクリックします。

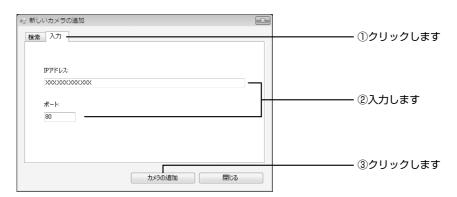
3　追加する本商品を選択します

■検索して追加する場合

登録したい本商品を選択し、［カメラの追加］をクリックします。

・本商品が見つからない場合は、［検索］をクリックして再検索します。
・同じネットワーク内の本商品のみ自動的に検索されます。インターネットに公開している本商品を追加する場合は手動で入力ください。
・本商品が複数台見つかる場合は、検索された MAC アドレスと、本商品側面の MAC アドレスを確認してください。

■ IP アドレスなどを直接入力して追加する場合

登録したい本商品の IP アドレスなどが分かる場合や、インターネットに公開している本商品を追加する場合は、「入力」タブをクリックし、追加したい本商品の IP アドレスとポート番号を手動で入力します。

登録したい本商品がダイナミック DNS などのドメイン名を持っている場合は、ドメイン名で追加することもできます。

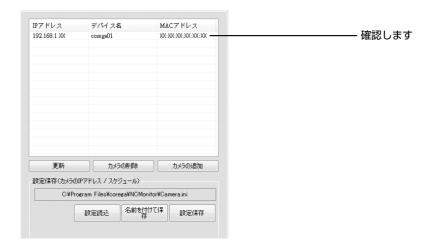
4　ログインの設定をします

選択した本商品のログイン設定を入力し、［OK］をクリックします。

ユーザ名とパスワードの初期値は「admin」です。

5 「新しいカメラの追加」ウィンドウを閉じます

「新しいカメラの追加」ウィンドウで［閉じる］をクリックします。

「カメラリスト」に戻ったら本商品が登録されていることを確認します。

6 映像を確認します

［SETTING］をクリックする（［SETTING］が押されていない状態に戻す）と、メイン画面には登録した本商品の映像が表示されます。

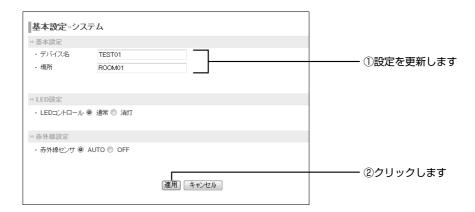
以上で、「NC Monitor」への本商品の登録は完了です。

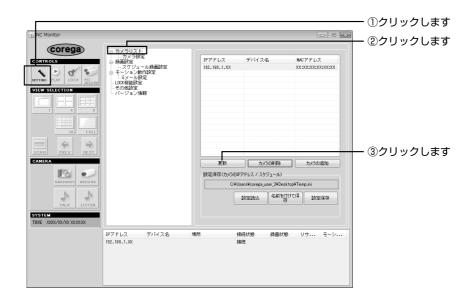
2.4.2　NC Monitor の状態を更新する

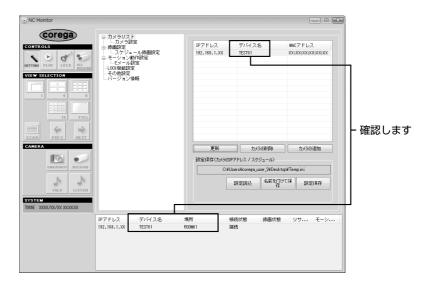
「NC Monitor」で表示している本商品の状態を更新できます。

1　本商品の Web 設定画面で基本設定を更新します

ここでは次の設定を例に説明します

デバイス名	TEST01
場所	ROOM01

2　NC Monitor の状態を更新します

「NC Monitor」の［SETTING］をクリック（［SETTING］が押されている状態に）して、「カメラリスト」－［更新］の順にクリックします。

3　更新されることを確認します

「カメラリスト」や「NC Monitor」下部の「デバイス名」や「場所」が更新されることを確認します。

以上で「NC Monitor」で表示している本商品の状態の更新は完了です。

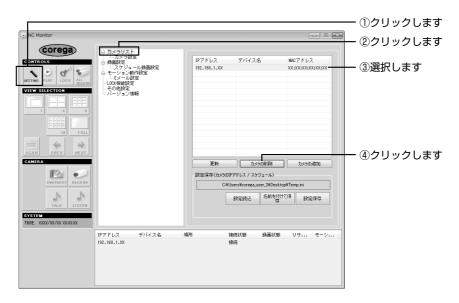
2.4.3　NC Monitor から本商品を削除する

本商品の IP アドレスやダイナミック DNS のドメイン名が変わると、それまでのアドレスでは本商品に通信できなくなるため、本商品を「NC Monitor」に登録し直す必要があります。次の手順で削除してから再度登録し直してください。

1　「NC Monitor」を起動します

☞ P.54「2.2　NC Monitor を起動する」

2　本商品を削除します

「CONTROLS」の［SETTING］をクリック（［SETTING］が押された状態に）して、「カメラリスト」で削除したい本商品を選択し、［カメラの削除］をクリックします。

3　削除を確認します

4　「カメラリスト」から削除されます

［SETTING］をクリック（［SETTING］が押されていない状態に）して、設定を終了します。

以上で登録の削除は完了です。

2.4.4　NC Monitor のスケジュールを設定する

「NC Monitor」でスケジュール録画をするためのスケジュールを設定します。

スケジュールの指定方法によって、設定の手順が異なります。

☞ P.75 「■日付指定で設定する場合」

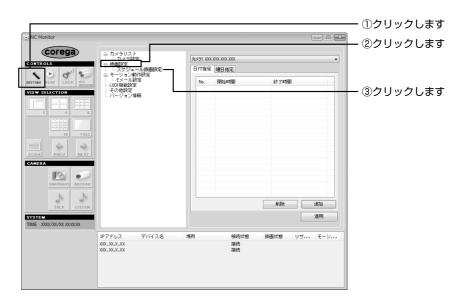
☞ P.78 「■曜日指定で設定する場合」

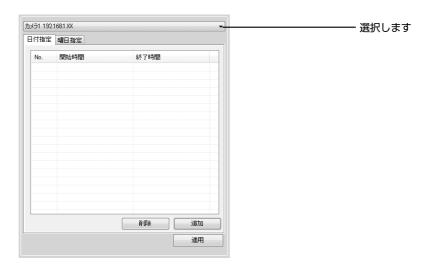
■日付指定で設定する場合

1　「NC Monitor」を起動します

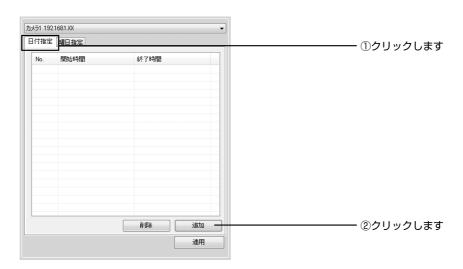
☞ P.54「2.2　NC Monitor を起動する」

2　「スケジュール録画設定」を表示します

［SETTING］をクリック（［SETTING］が押されている状態に）して、「録画設定」の「スケジュール録画設定」をクリックします。

3 カメラを選択します

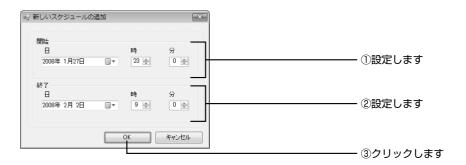
プルダウンメニューからスケジュールを設定する本商品を選択します。

4 指定方法を選択します

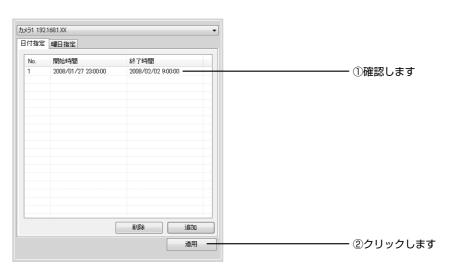
日時指定タブをクリックして、［追加］をクリックします。

2

5　スケジュールを設定します

開始日時と終了日時を設定して［適用］をクリックします。

ここでは、次の設定を例に説明します。

開始日時	2008 年 1 月 27 日　23 時 00 分
終了日時	2008 年 2 月 2 日　9 時 00 分

6　設定を保存します

追加したスケジュールがリストに表示されていることを確認して、［適用］をクリックします。

以上で設定は完了です。

「NC Monitor」で本商品の映像を撮影、録画するスケジュールが設定されました。

■曜日指定で設定する場合

1　「NC Monitor」を起動します

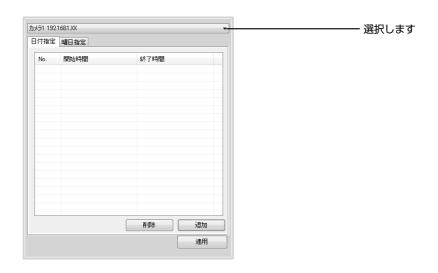
P.54「2.2　NC Monitor を起動する」

2　「スケジュール録画設定」を表示します

［SETTING］をクリック（［SETTING］が押されている状態に）して、「録画設定」の「スケジュール録画設定」をクリックします。

3　カメラを選択します

プルダウンメニューからスケジュールを設定する本商品を選択します。

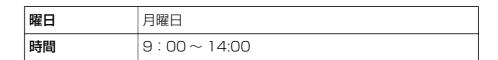
2

4　指定方法を選択します

曜日指定タブをクリックします。

5　スケジュールを設定します

開始日時と終了日時を設定して［適用］をクリックします。

ここでは、次の設定を例に説明します。

曜日	月曜日
時間	9：00 ～ 14:00

以上で設定は完了です。

「NC Monitor」で本商品の映像を撮影、録画するスケジュールが設定されました。

第 3 章
こんなときはこの設定

3

この章では、本商品をより便利に活用していただくための設定方法について説明しています。これらはすべて本商品がネットワークに接続していることを前提としています。

3.1　ネットワークカメラで自動的に撮影・録画する

パソコンから本商品の設定をすることで、本商品が設定に従って USB ストレージやネットワークストレージに自動的に撮影・録画したり、撮影した静止画を E メールで送信することができます。

保存先によって撮影・録画できるデータ形式や、録画方法に制限があります。

3.1.1　静止画を FTP サーバに保存する

静止画を FTP サーバに保存する設定を説明します。

■スケジュールで保存する

スケジュールに従って、静止画を FTP サーバに保存する設定を説明します。

1　「FTP」を表示します

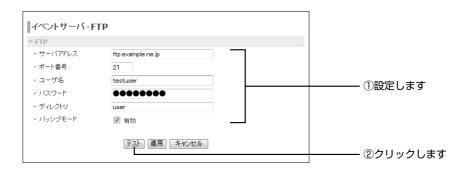
Web ブラウザから Web 設定画面を表示して、[SetUp] －「イベントサーバ」－「FTP」の順にクリックします。

2　FTP サーバを設定します

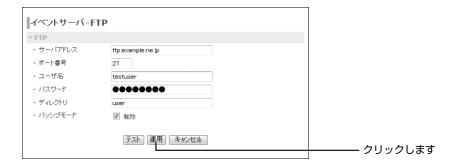
静止画を保存する FTP サーバの設定を入力して[テスト]をクリックします。

ここでは次の FTP サーバを例に説明します。

FTP のサーバアドレス	ftp.example.ne.jp
使用するポート番号	21
FTP のユーザ名	testuser
パスワード	●●●●●●●●
保存先のディレクトリ	user
パッシブモード	有効

※パスワードは表示されません。

3 テストの成功を確認します

FTP サーバへの書き込みテストが成功することを確認してウィンドウを閉じます。

4 FTP サーバの設定を保存します

5 スケジュールを設定します

「イベント設定」－「スケジュール」の順にクリックします。

ここでは、**P.35**「1.6.2　スケジュール」で設定したスケジュールを例に説明します。

スケジュール	Schedule01
曜日	月曜日
時間	9：00～14：00

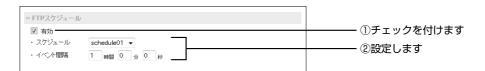
6　撮影方法を設定します

「イベント設定」－「スケジュール録画」の順にクリックします。

「FTP スケジュール」で撮影方法を設定して［適用］をクリックします。

☞ P.41「1.6.4　スケジュール録画」

ここでは、次の設定を例に説明します。

スケジュール	schedule01
イベント間隔	1 時間

以上で設定は完了です。

スケジュールに従って静止画が FTP サーバに保存されます。

3

■モーション感知で保存する

モーション感知に従って、静止画を FTP サーバに保存する設定を説明します。

1 「FTP」を表示します

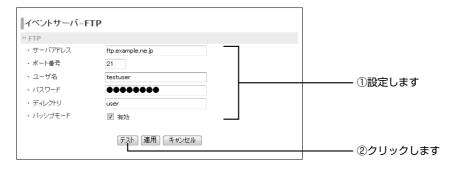
Web ブラウザから Web 設定画面を表示して、［SetUp］－「イベントサーバ」－「FTP」の順にクリックします。

2 FTP サーバを設定します

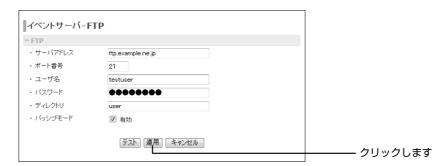
静止画を保存する FTP サーバの設定を入力して［テスト］をクリックします。

ここでは次の FTP サーバを例に説明します。

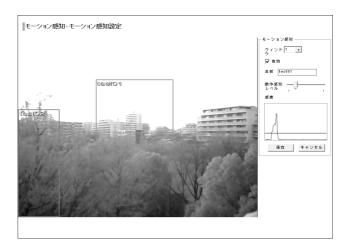
FTP のサーバアドレス	ftp.example.ne.jp
使用するポート番号	21
FTP のユーザ名	testuser
パスワード	●●●●●●●●
保存先のディレクトリ	user
パッシブモード	有効

※パスワードは表示されません。

3 テストの成功を確認します

FTP サーバへの書き込みテストが成功することを確認してウィンドウを閉じます。

4　FTP サーバの設定を保存します

5　モーション感知を設定します

「モーション感知」をクリックします。

「モーション感知」で感度や領域を設定します。ここでは、P.31「1.5　モーション感知」で設定している感度と領域を例に説明します。

6　撮影方法を設定します

「イベント設定」－「モーション録画」の順にクリックします。

動作を設定して［適用］をクリックします。ここでは常にモーション感知して、感知した際の静止画を FTP に保存する設定を例にします。

以上でモーション感知の設定に従って静止画が FTP サーバに保存されます。

3.1.2　静止画をＥメールで送信する

静止画をＥメールで送信する設定を説明します。

■スケジュールで送信する

スケジュールに従って、静止画をＥメールで送信する設定を説明します。

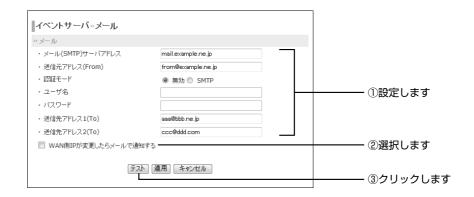
1　「メール」を表示します

Web ブラウザから Web 設定画面を表示して、［SetUp］－「イベントサーバ」－「メール」の順にクリックします。

2　メールサーバを設定します

静止画の送信元として使用するメールサーバと送信先のメールアドレスを入力して［テスト］をクリックします。

ここでは次の設定を例に説明します。

メール（SMTP）サーバアドレス	mail.example.ne.jp
送信元アドレス	from@example.ne.jp
認証モード	なし
ユーザ名	－
パスワード	－
送信先アドレス１	aaa@bbb.ne.jp
送信先アドレス２	ccc@ddd.com

3　テストの成功を確認します

Ｅメールサーバへテストが成功することを確認してウィンドウを閉じます。

4　メールサーバの設定を保存します

イベントサーバ››メール
›› メール
・メール(SMTP)サーバアドレス　mail.example.ne.jp
・送信元アドレス(From)　from@example.ne.jp
・認証モード　無効　SMTP
・ユーザ名
・パスワード
・送信先アドレス1(To)　aaa@bbb.ne.jp
・送信先アドレス2(To)　ccc@ddd.com
WAN側IPが変更したらメールで通知する
テスト　適用　キャンセル
クリックします

5　スケジュールを設定します

「イベント設定」－「スケジュール」の順にクリックします。

ここでは P.35「1.6.2　スケジュール」で設定したスケジュールを例に説明します。

スケジュール	Schedule01
曜日	月曜日
時間	9：00 ～ 14：00

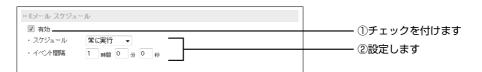
6　撮影方法を設定します

「イベント設定」－「スケジュール録画」の順にクリックします。

「E メールスケジュール」で撮影方法を設定して［適用］をクリックします。

☞ P.41「1.6.4　スケジュール録画」

ここでは、次の設定を例に説明します。

スケジュール	schedule01
イベント間隔	1 時間

以上で設定は完了です。

スケジュールに従って静止画が E メールで送信されます。

3.1.3　静止画を USB ストレージに保存する

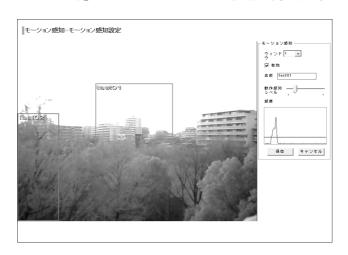
■モーション感知で保存する

モーション感知に従って、静止画を USB ストレージに保存する設定を説明します。

1　**「モーション感知」を表示します**

Web ブラウザから Web 設定画面を表示して、[SetUp] －「モーション感知」の順にクリックします。

2　**モーション感知を設定します**

「モーション感知」で感度や領域を設定します。ここでは P.31「1.5　モーション感知」で設定している感度と領域を例に説明します。

3　**保存先フォルダを設定します**

「イベント設定」－「一般」の順にクリックします。

「スナップショット / 録画用フォルダ」で、USB ストレージ内の保存先フォルダを設定して［適用］をクリックします。ここでは、USB ストレージ内に「test」フォルダを作成する設定を例にします。

4　スケジュールを設定します

「イベント設定」－「スケジュール」の順にクリックします。

ここでは、P.35「1.6.2　スケジュール」で設定したスケジュールを例に説明します。

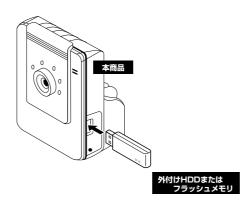
スケジュール	Schedule01
曜日	月曜日
時間	9：00 ～ 14：00

5　撮影方法を設定します

「イベント設定」－「モーション録画」の順にクリックします。

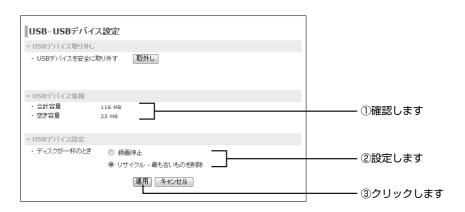
動作を設定して［適用］をクリックします。ここでは、次の時間帯のみモーション感知して静止画を USB ストレージに保存する設定を例にします

スケジュール	schedule01

6　本商品に USB ストレージを取り付けます

7　USB ストレージを設定します

「SetUp」－「USB」の順にクリックします。

「USB デバイス情報」で USB ストレージを認識していることを確認します。

「USB デバイス設定」で、USB ストレージのディスク容量以上に静止画が保存された場合の対応方法を設定します。

以上で設定は完了です。

モーション感知の設定に従って静止画が USB ストレージに保存されます。

3.1.4　動画をネットワークストレージに保存する

■スケジュールで保存する

スケジュールに従って、動画をネットワークストレージに保存する設定を説明します。

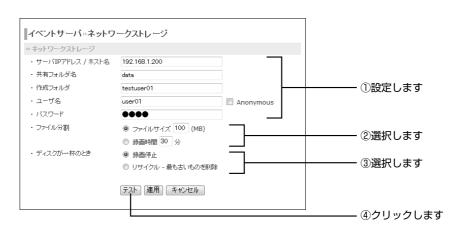
1　**「ネットワークストレージ」を表示します**

Web ブラウザから Web 設定画面を表示して、［SetUp］－「イベントサーバ」－「ネットワークストレージ」の順にクリックします。

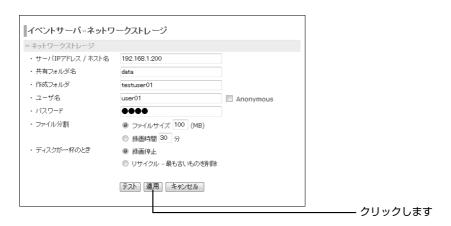
2　**ネットワークストレージを設定します**

録画先のネットワークストレージの設定を入力して［テスト］をクリックします。

ここでは次の設定を例に説明します。

サーバ IP アドレス / ホスト名	192.168.1.200
共有フォルダ	data
作成フォルダ	testuser01
ユーザ名	user01
パスワード	●●●●
ファイルの分割方法	ファイルサイズ 100MB で分割
ディスクがいっぱいのとき	録画停止

3　テストの成功を確認します

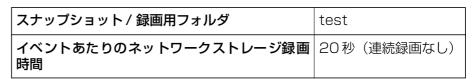
ネットワークストレージへの書き込みテストが成功することを確認してウィンドウを閉じます。

4　ネットワークストレージの設定を保存します

5　保存先フォルダを設定します

「イベント設定」－「一般」の順にクリックします。

「スナップショット / 録画用フォルダ」で、ネットワークストレージ内の保存先フォルダとイベントあたりのネットワークストレージ録画時間を設定して［適用］をクリックします。

ここでは、次の設定を例に説明します。

スナップショット / 録画用フォルダ	test
イベントあたりのネットワークストレージ録画時間	20 秒（連続録画なし）

6 スケジュールを設定します

「イベント設定」－「スケジュール録画」の順にクリックします。

ここでは P.35「1.6.2　スケジュール」で設定したスケジュールを例に説明します。

スケジュール	Schedule01
曜日	月曜日
時間	9：00 ～ 14：00

7 撮影方法を設定します

「イベント設定」－「スケジュール録画」の順にクリックします。

「ネットワークストレージスケジュール」で撮影方法を設定して［適用］をクリックします。

ここでは、次の設定を例に説明します。

スケジュール	schedule01
イベント間隔	1 時間

以上で設定は完了です。

スケジュールに従って動画がネットワークストレージに保存されます。

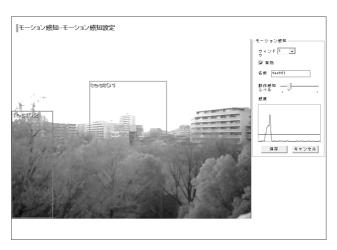
■モーション感知で保存する

モーション感知に従って、動画をネットワークストレージに保存する設定を説明します。

1 「モーション感知」を表示します

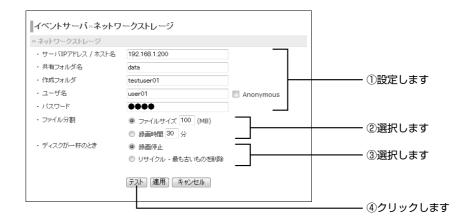
Web ブラウザから Web 設定画面を表示して、［SetUp］－「モーション感知」の順にクリックします。

2 モーション感知を設定します

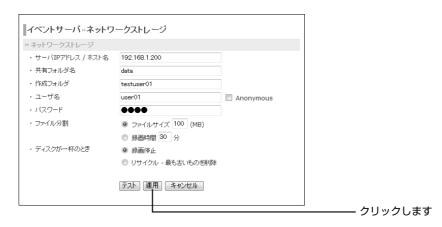
「モーション感知」で感度や領域を設定します。ここでは、P.31「1.5　モーション感知」で設定している感度と領域を例に説明します。

3 ネットワークストレージを設定します

「イベントサーバ」－「ネットワークストレージ」の順にクリックします。録画先のネットワークストレージの設定を入力して［テスト］をクリックします。

ここでは次の設定を例に説明します。

サーバ IP アドレス / ホスト名	192.168.1.200
共有フォルダ	data
作成フォルダ	testuser01
ユーザ名	user01
パスワード	●●●●
ファイルの分割方法	ファイルサイズ 100MB で分割
ディスクがいっぱいのとき	録画停止

4　テストの成功を確認します

ネットワークストレージへの書き込みテストが成功することを確認してウィンドウを閉じます。

5　ネットワークストレージの設定を保存します

6 保存先フォルダを設定します

「イベント設定」－「一般」の順にクリックします。

「スナップショット / 録画用フォルダ」で、ネットワークストレージ内の保存先フォルダとイベントあたりのネットワークストレージ録画時間を設定して［適用］をクリックします。

ここでは、次の設定を例にします。

スナップショット / 録画用フォルダ	test
イベントあたりのネットワークストレージ録画時間	20 秒（連続録画なし）

7 スケジュールを設定します

「イベント設定」－「スケジュール録画」の順にクリックします。

ここでは P.35「1.6.2　スケジュール」で設定したスケジュールを例に説明します。

スケジュール	Schedule01
曜日	月曜日
時間	9：00 ～ 14：00

8　撮影方法を設定します

「イベント設定」－「モーション録画」の順にクリックします。

動作を設定して［適用］をクリックします。ここでは、次の時間帯のみモーション感知して動画をネットワークストレージに保存する設定を例にします。

スケジュール	schedule01

以上で設定は完了です。

モーション感知の設定に従って静止画が USB ストレージに保存されます。

3.2　パソコンから「Live View」で撮影・録画する

パソコンに「NC Monitor」をインストールしなくても、本商品のWeb設定画面の「Live View」で手動で静止画や動画を保存することができます。

- Macintoshでは「Live View」での閲覧のみに対応します。静止画や動画を保存することはできません。
- 複数台のパソコンから同時に保存することはできません。複数台のパソコンで録画する場合は「NC Monitor」をお使いください。

3.2.1　静止画をパソコンに保存する

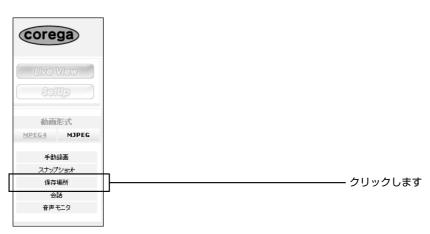
「Live View」で静止画をパソコンに保存する手順を説明します。

■手動で保存する

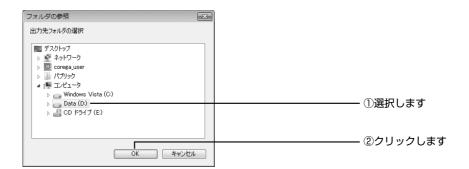
静止画を手動でパソコンに保存する手順を説明します。

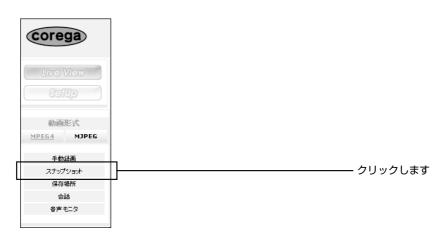
1　本商品のWeb設定画面で「Live View」を表示します

※画像はイメージです

2　［保存場所］をクリックします

3　保存場所を設定します

静止画の保存場所を設定します。

例では D ドライブ（D:）を保存場所に設定しています。

4　［スナップショット］をクリックします

クリックした状態の映像が静止画として保存されます。

以上で指定した場所に静止画が保存されます。

3.2.2　動画をパソコンに保存する

「Live View」で動画をパソコンに保存する手順を説明します。

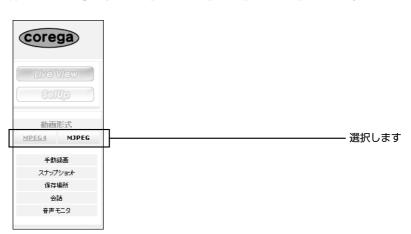
■手動で保存する

動画を手動でパソコンに保存する手順を説明します。

1　本商品の Web 設定画面で「Live View」を表示します

※画像はイメージです

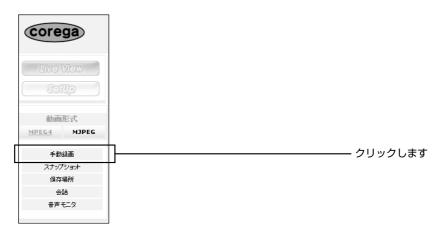
2　動画形式を選択します

保存したい動画形式を［MPEG4］か［MJPEG］から選択します。

3　保存場所を設定します

静止画の保存場所を設定します。

例では D ドライブ（D:）を保存場所に設定しています。

4　録画を開始します

［手動録画］をクリックして録画を開始します。

5　録画を停止します

［クリックすると録画を止めます］をクリックして録画を停止します。

以上で指定した場所に動画が保存されます。

3.3　NC Monitor で撮影・録画する

「NC Monitor」を使って、本商品が映している映像をパソコンに撮影・録画することができます。「NC Monitor」では、複数台の本商品を管理できます。

3.3.1　静止画をパソコンに保存する

静止画をパソコンに保存する設定を説明します。

■手動で保存する

「NC Monitor」に登録した本商品の映像の静止画を手動でパソコンに保存する方法を説明します。

1 「NC Monitor」を起動します

2 静止画を撮影します

撮影したい本商品を選択して「CAMERA」の［SNAPSHOT］をクリックします。

クリックしたときの映像が静止画としてパソコンに保存されます。

静止画の保存場所は P.62「2.3.6　録画設定」で設定します。

以上で、パソコンに手動で静止画が保存されます。

3.3.2　動画をパソコンに保存する

動画をパソコンに保存する設定を説明します。

■手動で保存する

「NC Monitor」に登録した本商品の映像の動画を手動でパソコンに保存する方法を説明します。

1　「NC Monitor」を起動します

2　動画を録画します

録画したい本商品を選択して「CAMERA」の [RECORD] をクリックします。

クリックする（[RECORD] が押された状態になる）と録画が開始されます。録画を停止するには、再度［RECORD］をクリック（［RECORD］が押されていない状態に）します。

動画の保存場所は P.62「2.3.6　録画設定」で設定します。

■スケジュールで保存する

「NC Monitor」に登録した本商品の映像の動画をスケジュールに従ってパソコンに保存する方法を説明します。

1　「NC Monitor」を起動します

2　録画の方法を設定します

「CONTROL」の［SETTING］をクリックして「録画設定」で録画の保存先や、録画ファイルの保存方法などを設定します。

☞ P.62「2.3.6　録画設定」

3　スケジュールを設定します

「CONTROL」の［SETTING］をクリックして「録画設定」の「スケジュール録画設定」でスケジュールを設定します。

ここでは、P.75「2.4.4　NC Monitor のスケジュールを設定する」で設定したスケジュールを例に説明します。

以上で設定は完了です。

スケジュールに従ってパソコンに動画が保存されます。

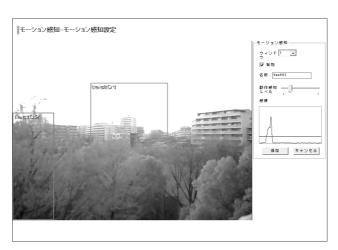
■モーション感知で保存する

「NC Monitor」に登録した本商品の映像の動画をモーション感知でパソコンに保存する方法を説明します。

1　「モーション感知」を表示します

Web ブラウザから Web 設定画面を表示して、［SetUp］－「モーション感知」の順にクリックします。

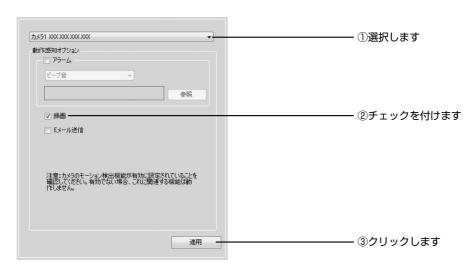
2　モーション感知を設定します

「モーション感知」で感度や領域を設定します。ここでは P.31「1.5　モーション感知」で設定している感度と領域を例に説明します。

3　録画の方法を設定します

「CONTROL」の［SETTING］をクリックして「録画設定」で録画の保存先や、録画ファイルの保存方法などを設定します。

☞ P.62「2.3.6　録画設定」

4　モーション録画を有効にします

「CONTROL」の［SETTING］をクリックして「モーション動作設定」を表示します。モーション録画をする本商品を選択して「動作感知オプション」で「録画」にチェックを付けます。［適用］をクリックして設定を保存します。

☞ P.64「2.3.7　モーション動作設定」

以上で設定は完了です。

モーション感知に従ってパソコンに動画が保存されます。

3.3.3　静止画を E メールで送信する

静止画を E メールで送信する設定を説明します。

■モーション感知で送信する

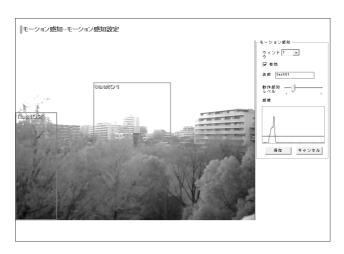
「NCW Monitor」に登録した本商品の映像の静止画をモーション感知で E メールで送信する方法を説明します。

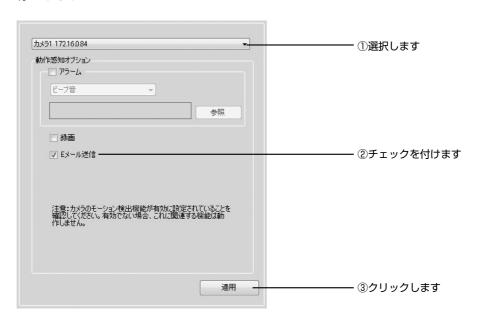
1　**「モーション感知」を表示します**

Web ブラウザから Web 設定画面を表示して、［SetUp］－「モーション感知」の順にクリックします。

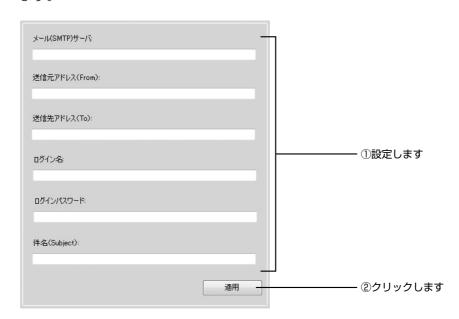
2　**モーション感知を設定します**

「モーション感知」で感度や領域を設定します。ここでは P.31「1.5　モーション感知」で設定している感度と領域を例に説明します。

3

3 モーション録画を有効にします

「CONTROL」の［SETTING］をクリックして「モーション動作設定」を表示します。モーション録画をする本商品を選択して「動作感知オプション」で「E メール送信」にチェックを付けます。［適用］をクリックして設定を保存します。

P.64「2.3.7　モーション動作設定」

4　E メールを設定します

「CONTROL」の［SETTING］をクリックします。「モーション動作設定」の「E メール設定」をクリックします。「E メール設定」でメールサーバの設定と、E メールの送信先を設定します。［適用］をクリックして設定を保存します。

以上で、モーション感知に従って、E メールで静止画が送信されます。

3.4　本商品を工場出荷時に戻す

設定が分からなくなった場合などに、本商品を初期化して工場出荷時の状態に戻すことができます。
工場出荷時の状態に戻すには次の 2 とおりの方法があります。

☞ P.110「3.4.1　Reset ボタンで初期化する」
☞ P.111「3.4.2　Web 設定画面で初期化する」

本商品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定した内容が初期値に戻ります。重要な設定をしている場合は、設定内容をメモに控えたり、設定のバックアップを取ってください。

☞ P.114「3.6 本商品の設定のバックアップを取る / 元に戻す」

3.4.1　Reset ボタンで初期化する

本商品を Reset ボタンで工場出荷時の状態に戻します。

1　Reset ボタンを押します

本商品の電源が入った状態で、背面の Reset ボタンを 5 秒以上押します。

2　LED が点滅したら Reset ボタンを離します

前面の Power LED が 2 回点滅したら、Reset ボタンを離します。

3　本商品が工場出荷時の状態に戻ります

本商品が工場出荷時の状態に戻って再起動します。起動が完了するまで 50 秒ほどお待ちください。

以上で本商品が工場出荷時の状態に戻りました。

3.4.2　Web 設定画面で初期化する

本商品を Web 設定画面で工場出荷時の状態に戻します。

1　「ツール」を表示します

Web ブラウザから Web 設定画面を表示して、［SetUp］－「ツール」の順にクリックします。

2　［実行］をクリックします

「工場出荷時の状態に戻す」で、［実行］をクリックします。

3　本商品が工場出荷時の状態に戻ります

次の画面が表示され、本商品が工場出荷時の状態に戻って再起動します。起動が完了するまで 50 秒ほどお待ちください。

以上で、本商品が工場出荷時の状態に戻りました。

3.5　本商品を再起動する

本商品の設定を変更したり、ネットワークに接続し直した場合などに再起動して本商品を起動し直すことができます。

再起動するには次の 2 とおりの方法があります。

☞ P.112「3.5.1　電源を入れ直して再起動する」
☞ P.113「3.5.2　Web 設定画面で再起動する」

本商品の IP アドレスを自動取得（DHCP）に設定している場合、本商品を再起動すると IP アドレスが変更する場合があります。新しい IP アドレスを確認するには「NC Finder」の［再検索］や E メール送信の「WAN 側 IP が変更したらメールで通知する」で本商品のアドレス確認してください。

☞ 取扱説明書「2.3　本商品の設定画面を確認する」
☞ P.27「1.4.2　メール」

3.5.1　電源を入れ直して再起動する

本商品の電源を入れ直して再起動します。

1　**電源を切ります**

電源コンセントから本商品の AC アダプタの電源プラグを抜きます。

2　**電源を入れます**

電源コンセントに本商品の AC アダプタの電源プラグを差し込みます。

3　**本商品が起動します**

Power LED が点灯して本商品が起動します。起動が完了するまで 50 秒ほどお待ちください。

以上で本商品が再起動しました。

3.5.2　Web 設定画面で再起動する

本商品を Web 設定画面で再起動します。

1　**「ツール」を表示します**

Web ブラウザから Web 設定画面を表示して、［SetUp］－「ツール」の順にクリックします。

2　**［再起動］をクリックします**

「システムを再起動する」で、［再起動］をクリックします。

3　**本商品が再起動します**

次の画面が表示され、本商品が再起動します。再起動が完了するまで 50 秒ほどお待ちください。

以上で本商品が再起動しました。

3.6　本商品の設定のバックアップを取る / 元に戻す

現在の設定をバックアップすると、なんらかの原因で設定内容が壊れた場合に、バックアップした設定ファイルを使って設定を元に戻すことができます。

バックアップした設定ファイルは、ファームウェアのバージョンが異なるとお使いになれない場合があります。

3.6.1　設定をバックアップする

次の手順で設定をバックアップします。

1　「ツール」を表示します

Web ブラウザから Web 設定画面を表示して、［SetUp］－「ツール」の順にクリックします。

2　［設定ファイル保存］をクリックします

「設定保存」で、［設定ファイル保存］をクリックします。

3　［保存］をクリックします

「ファイルのダウンロード」のダイアログボックスで［保存］をクリックします。

4　［保存］をクリックします

「名前を付けて保存」のダイアログボックスで保存する場所を指定して、［保存］をクリックします。

以上で本商品の設定ファイルをバックアップしました。

3.6.2　設定を元に戻す

次の手順で設定を元に戻します。

1　**「ツール」を表示します**

Web ブラウザから Web 設定画面を表示して、［SetUp］－「ツール」の順にクリックします。

2　**［参照 ...］をクリックします**

「設定読込」で、［参照 ...］をクリックします。

3　**設定ファイルを選択します**

P.114「3.6.1　設定をバックアップする」でバックアップした設定ファイルを選択して［開く］をクリックします。

4　**［設定読込］をクリックします**

選択した設定ファイルが「設定読込」に入力されていることを確認して［設定読込］をクリックします。

5　**設定を読み込みます**

次の画面が表示され、本商品に設定ファイルが読み込まれます。読み込みが完了するまで 50 秒ほどお待ちください。

以上で本商品の設定が元に戻りました。

3.7　ファームウェアをアップデートする

本商品の機能強化のため予告なくファームウェアをバージョンアップすることがあります。最新のファームウェアはコレガホームページ（http://corega.jp/）から入手してください。

- 更新するファームウェアのバージョンによっては、更新前に設定した内容が反映されない場合があります。
- ファームウェアをアップデートする前に、設定内容をメモに控えたり、P.114「3.6　本商品の設定のバックアップを取る / 元に戻す」を取る／元に戻す」をご覧になり、設定ファイルをバックアップすることをお勧めします。
- ファームウェアのアップデート中は、ほかの操作をしたり、本商品の電源を切ったりしないでください。アップデートに失敗したり、本商品の故障の原因となる場合があります。

- ファームウェアをアップデートする前に、コレガホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてください。
- ダウンロードしたファイルは圧縮されているため、解凍する必要があります。ファイルをダブルクリックして、解凍してお使いください。

次の手順でファームウェアをアップデートします。

1　「ツール」を表示します

Web ブラウザから Web 設定画面を表示して、［SetUp］－「ツール」の順にクリックします。

2　［参照 ...］をクリックします

「ファームウェア更新」で、［参照 ...］をクリックします。

3　設定ファイルを選択します

解凍したファームウェアファイルを選択して［開く］をクリックします。

4　［ファームウェア更新］をクリックします

選択したファームウェアファイルが「ファームウェア更新」に入力されていることを確認して［ファームウェア更新］をクリックします。

5　ファームウェアを更新します

しばらくすると次の画面が表示され、本商品のファームウェアがアップデートします。本商品が再起動するまで 50 秒ほどお待ちください。

本商品のファームウェア以外のファイルを読み込んだ場合は再起動します。

以上で本商品のファームウェアがアップデートしました。

おことわり

・本書は株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため商品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は国内使用となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

2008 年 1 月　初版